

2009年5月21日

社団法人 山梨県サッカー協会
専務理事 渡辺 玉彦 様
一般財団法人 TAKE ACTION FOUNDATION
代表理事 中田 英寿 様

財団法人日本ユニセフ協会
専務理事 早水 研

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

先月12日に実施されました、記念すべき「LIFE AFTER FOOTBALL」のスタートである「TAKE ACTION in 甲府」エキシビジョンマッチのご成功おめでとうございます。また、本マッチの開催により、ユニセフが南アフリカ共和国において実施しておりますサッカーを通じた青少年育成プロジェクトに対して、今般貴プロジェクトより950万円のご寄付を頂きますことに、厚く御礼申し上げます。

富の偏在が著しい南アフリカにおきましては、貧困地域の青少年が、エイズ、暴力、犯罪、麻薬、飲酒等の様々な困難に直面しており、厳しい環境を生き抜く力（ライフスキル）の育成が切に求められております。南アフリカ政府教育省はユニセフ南アフリカ事務所と協力して、彼らのライフスキル教育に主体的にかかわっており、特に、若者に人気のあるサッカーなどのスポーツを通じたプロジェクトを、全国の貧困地域にある585の小中学校を対象に実施中です。将来的には100万人の子どもたちが、本プロジェクトを恩恵に授かる予定です。こうした政府の動きを、複数の現地企業が企業社会貢献活動の一環として全面的に支援しており、本プロジェクトで使用するサッカーボールを格安で供給・配布しております。

また、子どもたちのやる気を高めるため、本プロジェクトに関連して学校対抗サッカートーナメントも全国規模で実施されており、子どもたちは日々のサッカー練習に余念がございません。今回のご支援で頂く20,000個のサッカーボールは、子どもたちのモチベーションをさらに引き上げ、希望をもたらしてくれることでしょう。

貴財団のご指定により、ご寄付頂く950万円を、ユニセフ南アフリカ事務所は下記の通り、(1) 20,000個のサッカーボールの供給・配布、(2) スポーツを通じたライフスキル教育プログラム実施にあたっての252名の教員、コーチの養成・訓練、及び、(3) プロジェクト管理費に使用させていただきます。

1)	サッカーボール (20,000 個) 購入・配布	600 万円
2)	教員、コーチ (252 人) 養成・訓練費	284 万円
3)	プロジェクト管理費	66 万円

本プロジェクト自体は 2010 年 12 月まで継続する予定ですが、上述 (1) につきましては、6 月上旬からボール購入を開始し、9 月末までに 20,000 個を対象校に配布完了予定で計画を立てております。ただし、本プロジェクト運営に関しましては、現地ユニセフ事務所以外にも、政府、現地企業等多くの関係者が関与しているため、上記のプロジェクト行程表、及び対象校等に関しまして変更が生じる可能性があります。この際は、事前にご相談させていただきますのでご理解下さいますようお願い申し上げます。進捗状況に関しましては、適時、写真等も含めてご報告致しますが、より包括的な年間報告書は 1 年毎、最終的なプロジェクト報告書は 3 年後を目処にしておりますプロジェクト終了時に提出させていただきます。

また、一時的な支援でなく自立支援を目的とする当協会にとっても、多くの方へ向けた活動の周知、広報は大きな課題でもあります。中田様の積極的な活動によって、実際に支援の現場へ足を運んでいただいた上、現地の支援だけで完了してしまうだけでなく開発途上国の現状、国際支援の課題や成果などを、一般の方への認知拡大、広報的な意味合いとしても大きな役割を果たしてくれています。

開発途上国の子どもの生命と権利を守ることを活動の使命とするユニセフ及び当協会は、楽しんで参加したことが誰にとってもプラスになる途上国支援を含む輪を広げていくという、貴財団の基本理念に強く共感致します。昨年のジュニア 8 サミットにおける、中田様の力強い個人的なサポート、及びチャリティーガラの収益金による、ユニセフがコンゴ民主共和国で実施する「蚊帳配布プロジェクト」へのご支援に続きまして、今年度も貴財団からさらなるご協力を頂くことができましたことは、私共にとっても大きな喜びです。

今後とも困難な状況にある開発途上国の子どものために、ご支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴財団のますますのご発展をお祈り申し上げます。

敬 具